

| No. | Q29. 災害対応力のあるまちに向けた方針・取り組みで何を重視すべきと考えますか(自由記述) |
|-----|---|
| 1 | なし |
| 2 | 特に無し |
| 3 | 個人での防災予防が必要、その都度感じる |
| 4 | 災害対策は住民個々人の意識と備蓄などの日頃の対応が重要。そのための意識高揚や備えに自治体は情報提供や備品の斡旋紹介などをやっては? |
| 5 | 特に無い |
| 6 | 災害時の高齢者の避難 |
| 7 | 被災者へのフォローが日本はとても遅れています。災害関連死も災害があるたび毎回多数出ます。台湾の大地震の際、素早いフォロー対策をニュースで知り、企業やホテルと前もって連携して被災者へのフォローを素晴らしいスピード感で成し得たノウハウを四日市も学んでほしい。企業と連携すれば四日市が持つ備蓄倉庫も増やすずに済むと思う。視点を変えてほしいです。 |
| 8 | 地域同士が連携して災害備蓄品等を分散して備蓄する等の地域同士が連携した防災対策の実施 |
| 9 | 特になし |
| 10 | なし |
| 11 | なし |
| 12 | なし |
| 13 | 災害時は、子供、女性を優先するべき |
| 14 | 公共施設の複数目的利用を実現されたい。 |
| 15 | 河川の整備 大雨が降ると 心配です |
| 16 | 特に罹災の確率が高い地域住民への周知 |
| 17 | シニアが生き生きと働ける環境整備 |
| 18 | 特になし。 |
| 19 | 別にない。 |
| 20 | 防災施策についてはできることから行っていただきたい。 |
| 21 | ない |
| 22 | 別にない。 |
| 23 | 人間として社会人として生きていく為には倫理実践という言葉があります、またそうした団体、もありますが筋道を守り実行していくことです。 |
| 24 | 各自でやるべき |
| 25 | 避難場所で少しでも不便なく暮らせる環境確保 |

| | |
|----|--|
| 26 | ネットインフラ整備 |
| 27 | 特にありません。 |
| 28 | 無料の管理設備があるなら備蓄は大事 |
| 29 | 特になし |
| 30 | 被害想定地への大企業誘致に伴う災害対策を取るのも良い |
| 31 | 避難勧告、警報など周知方法の徹底 |
| 32 | 特になし |
| 33 | ゴミ屋敷により緊急自動車の通行を妨げかねない住宅の整備をお願いしたい。 |
| 34 | 災害時の備蓄品は自助の推進のすすめ |
| 35 | 災害時は市民の意識、自分の命は自分で守る意識が大事で、各自で一週間分の備蓄が必要とか…取り組みの中にはマンホールを簡易トイレに使えるような取り組みも取り入れて欲しい。河川敷の充実も、川底が高くなっているところなど目につく。地震の時の津波など、臨海地では防波堤は是非見直して欲しい。 |
| 36 | なし |
| 37 | 郊外に空き家や空き地があるなら、避難所や畠、備蓄倉庫として積極的に活用してほしい。もちろん、防犯対策は万全に。 |
| 38 | 防災に関しては全て重要で早急な対応が必要だと思います。 |
| 39 | 小中学校の屋上の津波避難スペースの拡大 |
| 40 | 災害対策が一番重要です その他はあとでいい |
| 41 | なし |